

第28号
令和5年
9月発行

発行責任

津市スポーツ推進委員会

広報部会

<https://www.tsu-sposui.com>



津市スポーツ推進委員会のホームページでは最新の活動を見ることができます。
SSL 対応しましたので、必ず右上の新しい QR コードからアクセスしてください。

令和5年度津市スポーツ推進委員会第1回総会について

とき 令和5年5月19日（金）午後7時30分～

ところ 津市役所本庁8階 大会議室



第1回総会が行われました。総会では、津市スポーツ推進委員会の松本会長の挨拶に始まり、来賓として前葉市長にご挨拶を賜りました。以下、概要を記載いたします。

昨年度の総会挨拶の際に「津市スポーツ推進委員が、まだ『津市体育指導委員』のジャンパーを着ていたのを新調されて良かった。古いジャンパーを珍しいからとメルカリに出さないように。」と笑顔でおっしゃいました。

また、「国体中止で10億円予算、国からの5億円を返却し、残りの半分2億5千万円をコロナで使い残り2億5千万円をスポーツ振興基金に割り当てた。毎年5千万円ずつ使っていく計画である。そのような中、各競技団体が工夫して、外から指導者を招くや、敷居が高くて行けなかった大会に選抜選手を参加させる成果が出てきている。競技スポーツ関係者は未来に繋がるアスリート養成に力を入れてやっていただいている。5千万円の内2千万円は、スポーツ施設の不具合を直すことで使うこととしている。令和4年度は、25施設44か所 武道館トイレのドア改修、久居体育館中央ネット、久居グラウンドナイター設備、河芸体育館照明、香良洲サッカー場ナイター照明等に着手した。令和5年度は、河芸第

1 グラウンド防球ネット・フェンスの基礎工事、芸濃の使用中止になっているテニスコート、安濃中央公園野球場の雨漏り等を 4 年間で改修を進めていく。小さなことでも結構ですからどんどんおっしゃっていただい、予算をしっかり確保している間に直せる所を直していきます。市民の健康のためにも、出来得る限り、様々な大会・試合を催して欲しい。また、マラソン大会等にもご支援・ご協力をお願いします。本年度もどうぞよろしくお願ひいたします。」との挨拶がありました。

審議事項は、5 議案

第 1 号・2 号議案：令和 4 年度事業実績報告・収支決算報告

第 3 号・4 号議案：令和 5 年度事業計画・収支予算

第 5 号議案：令和 5・6 年度津市スポーツ推進員役員について

事務局案を賛成多数で承認いただきました。

記事 : furuichi

三重県スポーツ推進委員【初任者研修会】、【階層別研修会】について

とき 令和 5 年 6 月 17 日（土）午前 9 時 45 分～午後 3 時 30 分

ところ 三重県総合文化センター セミナー室 A（2 階）、セミナー室 C（3 階）



三重県スポーツ推進委員【初任者研修会】、【階層別研修会】が行われましたのでその様子を報告します。

当初任者研修会は、全国スポーツ推進委員リーダー養成講習会の修了者が講師となって、毎年この時期に開催しています。コロナ禍の影響で 2 年ほど開催がなく、昨年度から再開した研修会です。

今回の初任者研修会には、三重県内 12 市町から経験 1 年から 3 年の 43 名が受講されました。

津市からは、佐枝さん、井上さん、堀木さん（仕事の関係で午前の講義のみ受講）が参加しました。

午前中は、座学で以下 3 つの講義を受講。

講義 I「スポーツ推進委員の資質と役割」中川講師（伊勢市）

講義 II「スポーツ指導の考え方と指導法」西口講師（伊賀市）

講義 III「リスクマネジメントについて」奥村講師（志摩市）

昼食を挟み、午後から「演習：地域におけるスポーツ推進員の役割～今後、あなたは何をしますか～」をテーマに A～J の 10 グループに分かれてグループワーク・意見交換、発表を行いました。

このグループワークの講師として、三岳さん、筆者（古市）が津市から参加しました。

各グループの発表では「参加者を集める苦労、運営側の整員不足等」の共通の課題を再認識しました。企画したイベントに地区の多くの方が参加し、笑顔がいっぱいの行事運営をやっていきたいとの想いを新たにしました。

また、同時開催の階層別研修会には、津市から松本会長、小林ブロック長、藤岡ブロック長、稻垣会計の4名が参加されました。講義は渡邊委員長が行い、初任者研修会よりもキャリアを積んだ猛者により気迫の籠った意見交換がなされた様子でグループ発表にも熱が入ったようです。

こちらのグループワークには、津市からは講師として大河内理事長が参加しました。

いずれも各市町の特性により、開催するイベントは違えども地域の方、団体とのコミュニティリーダーとして健康寿命を延ばす一助を担える活動をしたい。

記事：furuichi

令和5年度三重県スポーツ推進委員研修会について

とき 令和5年8月5日（土）午後1時30分～午後3時40分

ところ 津市産業・スポーツセンター（サオリーナ）サブアリーナ

三重県スポーツ推進委員協議会 第1事業部会（女性部会）の主催で、ACP（アクティブチャイルドプログラム）研修を行いましたので、その様子を報告します。



※ACPとは、子供たちが楽しみながら積極的にからだを動かせるよう日本スポーツ協会が考案した運動プログラムのこと。

当日は、三重県内各地区のスポーツ推進委員が190名、事務局として、26名、総勢216名が参加でした。

講師は、吉田繁敬さん（公益財団法人日本スポーツ協会 ACP 普及・啓発プロジェクト班員）をお招きして、前半の 30 分は「ACP とは」を座学で学びました。現在、幼少期における身体活動・運動の量が減ってきてている。「絵本」「テレビ」は 10 年間で 2 倍。「自転車・三輪車」は 20 年間で 25% 減であり、活発にからだを動かす遊びの機会が少くなりつつある。ルールにこだわり過ぎず、自発的な運動を育むような環境づくりや、仕掛け。子供たちが楽しく興味が持てる活動プログラムを提供する目的で当プログラムを作成した。

実技では、8 つのゲームを体験した。

1 つめは、「ジャンケン勝ち残り」。全員立ち上がり、指導者とジャンケンして勝った人だけが残るゲーム、引き分けと負けはしゃがむ。少なくなったら、途中でもすぐ再開。（負けた子供たちを飽きさせないため）

次は、負けた人だけが残るルール。常に参加していることが楽しい。

そして、2 つめは「進化ジャンケン」を学んだ。「へび・うさぎ・さる・人間」。全員がへびとなって床に寝ころび、へび同士でジャンケン。勝てば、中腰のうさぎになれる。うさぎ同士で勝てば、さるになれる。さる同士で勝てば人間になるゲームを行った。

1 回目は、負けても、うさぎは、うさぎのままで実施。2 回目は、負けたらへびになるルールで行った。コミュニケーションをとる量が大幅に増えた。

続いて、3 つめとして二人ペアとなって、対立した相手が持つ新聞紙を取り上げようとするゲームを行った4 つめには、新聞紙を丸くして作ったフリスビーを投げて・キャッチするゲームをした。

真っすぐ飛ばないため、キャッチも、し難いため、簡単で面白い。

そして、5 つめには「言うこと一緒・やること一緒」と全員で歌って、前・後・右・左・右等を繰り返してジャンプして動くゲームを行った。慣れてきたら、パンチ・キック・回る・ケンケン等を増やす。

次に、「言うこと一緒・やること逆」全員が歌って、前と言ったら、後ろへ、右と言ったら左に動く。

「言うこと一緒・やること一緒」で同時に動く。手をつないでペアとなって同時に動く。

手をつないで、一緒に動く。スキニップがとれて新しいメンバーが溶け込みやすい。

6 つめには、バットのグリップのように手の親指と人差し指を付けて、他の指を添わして筒状の輪っかを作り、相手側は人差し指を入れて待つ。キャ・キャ・キャッチと言われたら指を掴むか、掴まれないかを競うゲーム。キャ・キャ・キャ・キャベツで掴んだり、指を抜いたらダメ。

7 つめは「ピカピカゴロゴロ」というゲーム。10 人程度で円を作り、ボール 2 個を対面する位置で持つ。

指導者が、ピカピカピカを言っている間は右隣の人にはボールを回し、ゴロゴロゴロで左隣の人へ反転させる。ドカンで持っていた人が負け。

最後の 8 つめは、「大根抜き」。先ほどの円の中心側に頭を向けて寝そべり、両端の人と腕組をして円陣を組む。それを外野が今から引っ張ると事前にトントンと足を叩いて教えてから、足を引っ張るゲーム。引っ張られて抜け出てしまったら、外野になって引っ張り役になる。人には、速筋（白い筋肉）と、遅筋（赤い筋肉）がある。引っ張る力は、遅筋を使う。幼少期に付けて良いのは遅筋のため、成長を妨げることもなく有効とのことだった。今まで知らなかったが、年齢関係なくかつ用具を使わなくて笑いが絶えないゲームが多くあることに気づけた良い研修だった。機会があれば、地元地域でも活用してみたい。

記事：mitake

「ブロックだより

津ブロック

出前授業しました！「南が丘学校支援委員会夏休み教室」

とき 令和5年7月27日（木）・28日（金）

ところ 南が丘小学校



南が丘小学校では、コロナで中止になっていた学校支援委員会による夏休みスポーツ教室を3年ぶりに、7月27日と28日の午前中に行いました。27日は低学年向け親子ドッヂビーを15組募集したのですが、参加者は4組でした。また、28日は高学年向けにキンボールを30名募集ましたが、参加者は15名でした。以前は南が丘地区体育振興会のみで運営・指導していましたが、ブランクがあったことから、スポーツ推進委員の坂井さん（津ブロック長）に支援依頼し、南立誠地区の坂井さん、栗真地区の河端さん、修成地区の前村さん、藤水地区の梅川さんの応援を得て実施することができました。

ドッヂビーは通常13人対13人で行うのですが、4組の8人と少なかったので、9m×9mの正方形のコートで行うスクエアードッヂビーを行いました。これは人数に制限なく出来ます。コートの中のチームを外側チームが攻撃します。外から投げてキャッチしたら守備側に1点加算、当たつてしまったら攻撃側に1点加算、中にあるドッヂビーは外に戻して攻撃再開し、7分間で交代するというルールです。皆さんはどうぞ有利だと思いますか？やってみると守備側が結構キャッチして点数を稼ぎ守備が有利でした。そこで、ドッヂビーを2枚にしてみると、ほぼ同じような点数になりました。初めての試みでしたが楽しめました。

キンボールは津市から借りたのですが通常色のビブス（ピンク・ブラック・グレー）が無かったので、通常と異なった色のブルー・イエロー・グリーンのビブスで行いました。我々スポーツ推進委員は通常色のイメージが強く、すぐにははじめませんでしたが、高学年の児童はそんなことは関係なく暑い夏の体育館でキンボールを楽しんでいました。

ニュースポーツは、誰もがどこでも楽しくというコンセプトのもとに行うのでその場に応じたルールで楽しくできました。応援していただいたスポーツ推進委員の皆さん本当にありがとうございました。

記事： morikawa

ブロックだより

安芸ブロック

令和 5 年度 スポーツ推進委員研修会（カローリング研修）

とき 令和 5 年 6 月 18 日（日） 午前 9 時 30 分～

ところ 津市芸濃町総合文化センター剣道場



安芸ブロックスポーツ推進委員のカローリング研修会を行いましたので報告します。

初任者研修会 & 階層別研修会の翌日で蒸し暑い中でしたが、9 時過ぎには剣道場に 15 名が参加してカローリング 2 コートを作りました。

その後、今年から推進委員になった方々もおられたので、大河内理事長からルール説明をいただき、赤、黄、青の小数点加算の説明には質問される等、ルールを理解しようと真剣に聞き入っておられました。

A チーム～E チームの 5 チームに割り振り、4 チームがゲームする中、残りの 1 チームが 2 つのコートに分かれて、審判を体験する。ゲームを通じて、相互にルールを学ぶ形式で試合しました。

ちょうど 3 名で 1 チームとなったため 6 個のジェットローラーを 2 投ずつ投げました。先鋒、次鋒、大将的な各チームで戦術を練っての試合となりました。午前中に 3 試合、昼食を挟んで午後から 2 試合を行いました。

安芸ブロックでは昨年からカローリング普及に取り組んできたこともあり、メンバーも上達ってきて最初にサークルの中に置いても次投ではじき出される真剣勝負となりました。最終の赤ジェットで逆転すると大きな歓声が沸き上がりルールを学びつつ、笑顔溢れる研修会となりました。安芸ブロックでは、カローリングの実技を通じた審判研修をやっています。実践を通じて、地域で広めていきたいと思います。

記事 : tanizaki

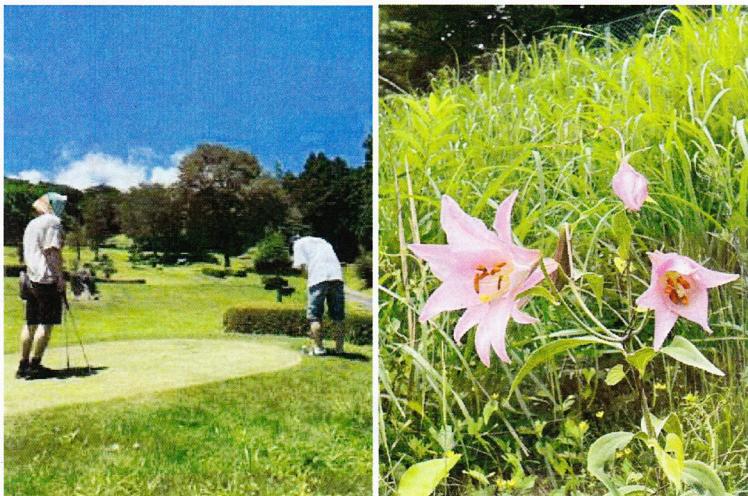
ブロックだより

一志ブロック

令和 5 年度 スポーツ推進員研修会（パターゴルフ研修）

とき 令和 5 年 6 月 18 日(日)午前 10 時～

ところ スカイランドおおばら パターゴルフ場



当日は、快晴の中、19人が参加しました。ゲーム中はウグイス、カッコーの鳴き声がゴルフ場に響き皆さんのプレーの癒やしになりました。高低差があり大洞山のふもとの最高のパターゴルフ場での研修会でした。ありがとうございました。

記事： umemori

久居ブロック

令和 5 年度 旧久居地区体育振興会交流会

とき 令和 5 年 7 月 8 日(土)午前 9 時～

ところ 久居体育館・周辺スポーツ公園内



当日は、午前 9 時から交流会を開催しました。新型コロナウイルスは 5 類に移行するも、感染拡大が懸念されるため屋内競技(ユニカール、フレッシュボール)を空間を広くとて体験コーナーとして実施。体験コーナーの参加者は、49 名でした。その中、親子で参加が 7 家族、小学 1 年から 3 年生が 14 人でした。屋内競技を体験コーナーとしたことで、2 種のニュースポーツを一度に体験出来たことが好評でした。

陽射しの厳しい中でしたが、グラウンドゴルフは 71 名の参加。競技終了から閉会式までの間、ホールインワンゲームを行い、大会と違った雰囲気でグラウンドゴルフを楽しみました。

記事： taku

スポーツ推進委員実態調査結果

皆さまにご協力いただきました、アンケート集計を掲載いたします。

令和5年7月4日

津市スポーツ推進委員会

事業・調整部会

「津市スポーツ推進委員の実態調査結果」

1 回収状況

対象者数	回収数	有効回答	有効回答率
117	89	71	60.6%

※回収は89であったが回収の無効（白紙）18有効回答は71となってます。

※有効回答のみを対象としています。

Q1 年齢を答えて下さい。

- ① 20~30歳代 ・・・・ 2名
② 40~50歳代 ・・・・ 33名
③ 60歳代 ・・・・ 21名
④ 70歳代以上 ・・・・ 14名

(考察)

40歳~60歳の委員が中心で構成され、いろいろな幅広いキャリアも活用でき、委員会活動の大きなパワーとなっている。

Q2 スポーツ推進委員として経験年数を答えて下さい。

- ① 2年末満 ・・・・ 18名
② 2年~9年 ・・・・ 17名
③ 10年~19年 ・・・・ 21名
④ 20年以上 ・・・・ 13名

(考察)

スポーツ推進委員として経験年数の構成もバランスが取れ、委員会の大きなパワーの源となっている。

Q3 スポーツ推進委員を引き受けた理由は何ですか。

- ① 頼まれた ・・・・ 62件
② スポーツが好き ・・・・ 7件
③ 地域へ協力 ・・・・ 10件
(地域の健康なまちづくり及び活性化等)
④ ボランティア活動 ・・・・ 3件
⑤ 順番が回ってきた ・・・・ 2件
⑥ スポーツ推進委員に興味があったから ・・・・ 0
⑦ スポーツを通じて地域交流ができるから ・・・・ 6件
⑧ その他() ・・・・ 0

(考察)

スポーツ推進委員は頼まれて引き受けた委員が大部分であるのが魅力（興味）あるスポーツ推進委員への模索し認知度を高め、地域社会に根付き地域社会との交流を深めるような傾向も見られ、自ら手を上げて引き継ぐようなスポーツ推進委員活動をする必要がある。

Q4 スポーツ推進委員として主にどのような活動をしていますか。（複数回答可）

- ① 行事や教室への協力 ・・・・ 41件
② スポーツ推進委員会の定例会、研修会などに参加 ・・・・ 50件
③ 地域スポーツ活動の運営 ・・・・ 30件
④ 地域スポーツ活動の企画・立案 ・・・・ 23件
⑤ 地域スポーツ活動の実技指導 ・・・・ 13件
⑥ スポーツ関連の会議に参加 ・・・・ 20件
⑦ 地域諸団体のスポーツ行事への協働 ・・・・ 19件

(考察)

活動に関しては、地域の主催するスポーツ事業への協力や定例会議への参加が多く、実技指導より事業の運営や企画立案のスタッフ的な活動が多くなってきている。

Q5 スポーツ推進委員としての悩みがありますか

- ① ある ・・・・ 33名
② ない ・・・・ 36名

(考察)

委員の半数は、それぞれ悩みの内容は異なるが、何らかの形で悩みを持っており、その難しさが浮き彫りにされている。

Q6 その悩みの内容は何ですか。（※Q5①であると答えられた方に）（複数回答可）

- ① 仕事・家事・育児との両立 ・・・・ 7件
② 地域住民との関係 ・・・・ 4件
③ 他のスポーツ団体との関係 ・・・・ 3件
④ 夜間の活動や会議への参加 ・・・・ 14件
⑤ 研修機会がない ・・・・ 0

(考察)

悩みの多くは「夜間の活動や会議への参加」、とともに地域の方が「スポーツ推

⑥	スポーツ推進委員間の人間関係	···	○
⑦	スポーツ推進委員の活動内容が理解できない	···	5件
⑧	家族の理解が得られない	···	2件
⑨	職場の理解が得られない	···	1件
⑩	日曜の活動が多く、休日が取れない	···	5件
⑪	委員としてスポーツ指導ができない	···	5件
⑫	自分の思っていることをみんなの前で話せない	···	4件
⑬	地域住民がスポーツ推進委員のことを知らない	···	10件
⑭	会議、活動、イベントなどに参加者が少ない	···	14件
⑮	新しいスポーツ推進委員のなり手がない	···	14件
⑯	スポーツ推進委員の位置付けと活動が一致していない	···	3件
⑰	その他の)	··· 5件

進委員のことを知らない」「参加者が少ない」「スポーツ

推進委員のなり手がない」等多くの悩みの内容が浮き彫りされ、スポーツ推進委員の悩み解消に真剣に取り組む必要がある。

特に、地域住民の方が「スポーツ推進委員を知らない」「新しいスポーツ推進委員のなり手がない」等の悩みは深刻な悩みである。

Q7 委員会専門部会に所属したいと思いますか。

①	思う	···	23名
②	思わない	···	45名

Q8 Q7で思うと答えた方にはどの部会に所属したいですか。 (※現在の3専門部会)

①	事業・調整部会	···	4名
②	研修部会	···	16名
③	広報部会	···	3名

Q9 研修会・研究大会等の内容は参考になりますか。

①	参加していないのでわからない	···	15件
②	地域活動等に参加しているので参考になる	···	30件
③	参考にしているが具体的に判りづらい	···	20件

研修・研究大会の内容が判りづらい」については、研修・研究大会など参加者への参加後のフォローの為にも伝達講習も必要かも・又、大会主催者側への判りやすい大会の開催へのアプローチも必要であると考えます。

Q10 今後スポーツ推進委員に期待することを答えて下さい。

①	地域スポーツ活動の企画・運営	···	22件
②	地域と学校・行政・団体との連携	···	25件
③	地域スポーツ活動の実技指導	···	12件
④	総合型地域文化・スポーツクラブの育成	···	5件
⑤	総合型地域文化・スポーツクラブのコーディネーター	···	3件
⑥	競技型スポーツから楽しみ型スポーツ(日常生活型)の普及	···	24件
⑦	高齢者、障がい者に対する生涯スポーツの普及	···	28件
⑧	その他の)	

(考察)

地域社会(行政、学校、諸団体)との連携によるスポーツ事業の企画・運営の実施、又事業内容は「楽しみ型スポーツ(日常生活型)と「障がい者スポーツ」の普及への取り組みが重要視されている。

(ご要望・ご意見欄:原文そのまま)

- ①他団体との兼ね合いで、すべて参加することができないので申し訳ないと思っている。
- ②出席率アップに何か良い方法はないか?
- ③各地区で近くに公園などがあるところはそこまでハイキングをして、そこで軽スポーツとか簡単なレクリエーションなどして、2~3時間遊べる様にできると良いと思う。
- ④スポーツ推進委員としての活動目標を委員会として明示してほしい。
- ⑤スポーツ推進委員の認知度を高める方策は?
- ⑥事業・調整部会は全く仕事がないので不要です。わざと関係のない仕事を作らなくても良い。
- ⑦失敗を恐れず、地域住民に喜ばれる活動を今後も推進委員全員で目標を持ち活動してゆきたいです。
- ⑧新しい樹形にあるテニスコートの周辺のウォーキングコースの質が良く歩きやすい。他にも施設の改善で予算対応の意見が出されるのではないかと思います。

津市スポーツ推進委員交流会

とき 令和5年8月27日(日)

ところ 久居ボウリング場

スポーツ推進委員の交流を深めました。



☆☆☆編集後記☆☆☆

男子バスケットボール（KURENAI JAPAN）がパリオリンピック自力出場を決め、盛り上がりを見せる中での、ふれ愛28号発行となります。さて、スポーツ推進委員の行事もコロナ前の状況まで復活しており各ブロック事業も順調に消化できているようですね。先日の理事会で、研修会日程が、委員には郵送でお知らせをすることとなっていましたが手元に届いていない様子でした。よって、ホームページに下記日程を掲載しました。

各ブロックの推進委員がコミュニケーションをとり、事前に日程周知いただき、普段の行事に出てこられない同じブロックの仲間に声をかけて、研修会に参加いただき盛り上げてくださることを願います。

再掲とはなりますが、以下日程・場所で学び、地域で事業を展開出来るよう奮ってご参加ください。

編集長：furuichi

日時	曜日	会場	事業名
6月 23日 19:30~21:00	金	一志体育馆	研修会（一志ブロック） カローリング
7月 20日 19:30~21:30	木	サオリーナ・サブ(半面.A)	研修会（津ブロック） ファミリーバトミントン・カローリング
9月 12日 19:30~21:30	火	久居体育馆	研修会（久居ブロック） カローリング
10月 23日 19:30~21:30	月	安濃体育馆サブ	研修会（安芸ブロック） カローリング
11月 15日 19:30~21:30	水	サオリーナ・サブ(半面.A)	ニュースポーツ体験会 お鍋蓋卓球
12月 14日 19:00~21:30	木	サオリーナ・サブ(半面.A)	ミニ交流会 カローリング

●津市スポーツ推進委員会 事務局●

〒514-0056 津市北河路町19-1 メッセウイング・みえ 2階

TEL:059-229-3254

FAX:059-229-3247

★津市スポーツ推進委員会ホームページ★

<http://tsu-sposui.com/>



公益社団法人全国スポーツ推進委員連合

<http://www.zentaishi.com/>